

# Campus Life

No.187 2026.3



図書館兼本館 令和8年4月1日から使用開始!!

図書館は、階ごとに利用スタイルを変えられる多目的な空間、学生の知的意欲を刺激する学びの場へと進化しました。本館には学生が利用する教学部門を集約し、利便性の高い事務機能を備えました。

## 国際関係学部TOPICS

国際関係学部公式 Instagram。

Instagram でしか発信できない本学部の日常や沢山の魅力を配信しています。

学生インフルエンサーも活躍中！

「フォロー&いいね」をお願いします。



## 学部長・短期大学部（三島校舎）次長ご挨拶



日本大学国際関係学部長  
**渡邊 武一郎**

希望の森に鶯の声が聞こえる季節となりました。

令和7年度の授業は滞りなく終了し、桜前線の到来までキャンパスはつかの間の閑けさに包まれています。4年生の皆さんは、卒業までの残りわずかな学生生活を有意義に過ごしていることと思います。2・3年生の皆さんは、これまでの学生生活を踏まえて、来年度の準備に勤しんでいることでしょう。そして、大学生として最初の1年間を終えようとしている皆さんは、入学時に自らが描いた期待どおりの時間を過ごせたでしょうか？学生の皆さんには、大学生という人生において特別な時間を大切に過ごして欲しいと思います。

国際関係学部では設立以来、学生の国際交流を進めてきま

した。留学制度は短期、中期、長期に始まり、本学部特有のティーチング・インターンシップ・プログラムやダブル・ディグリー・プログラムと多岐にわたります。また、毎年6月から7月にかけてニューヨーク州立ストーニーブルック大学とインドのゴア大学の学生が、日本語・日本文化を学びにキャンパスを訪れます。学生の皆さんはバディプログラムの一員として参加できます。

また、かねてから報告していた新図書館も2月に竣工式を終え、いよいよ4月から使用開始となります。入り口をくぐると目の前にブックツリーが聳え立ち、アカデミックな雰囲気醸し出しています。建物内はアクティブ、クワイエット、サイレントの3つにゾーン分けされており、ニーズに合わせて利用できます。是非、日々の学びに生かしてください。

これからも国際関係学部では学生の皆さんの学修意欲、好奇心により一層応えるべく、教職員が丸となりサポートすることを約束します。三島キャンパスで実り多い時間を過ごしてください。



短期大学部(三島校舎)次長  
**東馬 宏和**

春の訪れとともに、三島キャンパスにも新たな門出の季節が巡ってまいりました。保護者の皆様には、日頃より本学の教育活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

本年3月、食物栄養学科は学科として一区切りとなる卒業生を送り出します。長年にわたり本学の教育を支えてきた学科として一つの大きな節目を迎えますが、その歩みは学生一人ひとりの中に確かに受け継がれております。卒業生のうち

20名は専攻科食物栄養専攻へ進学し、より高度な専門性を磨いてまいります。この20名が、令和8年度入学の専攻科1年生として最後の学生となります。また、ビジネス教養学科においては、32名が三島キャンパス内の国際関係学部や、日本大学経済学部などへ編入学し、学びをさらに発展させます。就職活動を頑張り抜いた卒業生も、短期大学部で培った実践的な力を胸に、それぞれの業界で社会人として新たな一歩を踏み出します。

この春より三島キャンパスでは新図書館が稼働いたします。学生の主体的な学修を支える新たな拠点として、大いに活用されることを期待しております。今後とも短期大学部(三島校舎)への変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和8年度前学期スケジュール

4/1～4/4

健康診断・  
ガイダンス期間

4/3 開講式

4/6 前学期授業開始

4/29 祝日授業

5/6 振替休日授業

7/13 到達度確認期間  
(14・15週目)

7/20 祝日授業

7/24 前学期授業終了

7/27・28  
定期試験(諸課程)

7/29 夏季休暇開始

8/20・21  
追試験

9/24 夏季休暇終了

9/25 後学期授業開始

## 第75回 富桜祭開催



富桜祭実行委員会委員長

国際関係学部  
国際総合政策学科3年

上田 健人 さん

### 第75回 富桜祭報告

本年度、第75回富桜祭を令和7年10月25日(土)、26日(日)に対面で開催しました。今年度のテーマは「Creation~舞台はここ三島~」。私たち一人ひとりの創造を最大限に活かし、来場者に新たな想造をしてほしいという思いや富桜祭の世界観を味わう中で新たなつながりを築き、自分らしさを見いだせるきっかけとなつてほしいという願いが込められています。

この願いを元に、実行委員会では様々なチャレンジを行いました。人気企画であった、芸能人企画、模擬店グランプリ、スタンプラリー、後夜祭のBINGO大会などを今年度も開催し、来場者から良い反響を得ることができました。他にも、みしまお寺めぐりの会、静岡県警察音楽隊の演奏、三島しゃぎりの演奏なども活気に溢れ、自衛隊の車両展示に関して今年度は、学部祭規模では初の試みとなる大型の装甲車をお貸しいただき、他とは一線を画すものとなりました。

昨年度に引き続きJICAとのコラボ企画を開催することができ、来場者に国際社会について楽しく学ぶ機会を提供できました。このような経験を通して、「富桜祭は多くの協力のもと成り立っている」と感じるとともに、昨年度のテーマであった「つながり」というものを再認識しました。

また、初の試みとして三島サンパのチームの方をお招きしパフォーマンスしていただき、その力強い様子は会場にいる人々を圧倒しました。子供向け企画として考案したエア遊具に関しては、子供たちの楽しそうな声が響き渡り、それを見守っていた保護者の方々も笑顔になるという温かい空間を提供することができました。昨年度のお化け屋敷の代替企画である「お話しいろいろ部屋」では、ご家族などが一丸となって問題を解いたり、実行委員によるお話を楽しく聞いたりなど和気あいあいとした雰囲気楽しんでいただきました。路上ゲリラライブでは事前に学生から参加者を募り、当日タイムスケジュールを公開せずに企画を行いました。その結果、隠れた才能を発揮していた学生もおり、新たな自分の創造ができていたと感じました。

これらのチャレンジにより第75回富桜祭には、天気予報が雨でありながらも約3,100人の来場者を迎えることができました。私たちが考えたものは来場者に対して新たな想造の機会を提供することができたと考えています。そして、実行委員会の仲間とともに作り上げたものは、色あせることのないかけがえのない経験です。

富桜祭の開催にあたり、ご指導を賜りました教職員の皆様、協力してくださった外部関係者様、共に支えあい困難を乗り越えた実行委員会の仲間たちに心から感謝申し上げます。来年度以降も、新たな価値を生み出し、参加した人々の記憶に残るものを作り続けていくことを願い、第75回富桜祭の報告とさせていただきます。



学生生活委員会委員長

国際関係学部  
国際総合政策学科

教授 鄭 勳燮

### 学生生活委員会委員長から

令和7年10月25日(土)と26日(日)の二日間、国際関係学部及び短期大学部(三島校舎)では第75回富桜祭(学部祭)が開催されました。

富桜祭の準備から片付けまでの4日間、大きなトラブルもなく無事に終了することができました。当日は終日雨天の中での開催となりましたが、2日間の来場者数は3,136人となり、多くの方にキャンパスにお越しいただくことができました。今年度の企画では、体育館ステージのパフォーマンスやゼミナールによる研究発表及び活動の紹介、様々な模擬店の出店など、学内の多くの団体が参加したほか、静岡県警察音楽隊、自衛隊車両展示、三島の伝統芸能「しゃぎり」演舞、キッチンカーの出店など、たくさんの学外の方々にご参加いただきました。

今年度の富桜祭実行委員会は、共に学部祭を盛り上げるための部員勧誘活動からスタートし、今年度ならではの富桜祭を実現するために、お互い協力して当日まで活動してきました。実行委員会の学生の皆さんに一生懸命取り組んでいたおかげで、大盛況のうちに学部祭を終えることができました。学生の皆さん、本当にお疲れ様でした。

国際関係学部及び短期大学部(三島校舎)では、年間、様々な学生関連のイベントが開催されますが、富桜祭はその中でも最大規模の学生行事です。来年度の富桜祭は令和8年10月24日(土)と25日(日)に開催の予定です。三島キャンパスの学生が今後もより良い学生生活を送れるよう、これからも教職員一同、学生へのサポートに力を注いでいきたいと思っております。保護者の皆様方におかれましては、今後とも富桜祭へのご声援、ご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。



## 国際関係学部・学科だより

### 国際総合政策学科 ゼミナール紹介

#### 教授 藤城 一雄

このゼミナールでは、「三島からの身近な国際協力」をテーマとしています。

毎週の授業では、フィールドワークに必要なインタビューやワークショップの手法を習得し、日本が国際協力を行う意義や日本国内の多文化共生の実態について学びます。

このゼミナールの大きな特徴は、身近な国際協力の実践活動です。具体的には、静岡県立ふじのくに夜間中学校での外国につながる生徒たちの学習支援ボランティア、日本語サークルあいうえおの会での外国につながる住民たちの日本語学習支援ボランティア、三島市国際交流協会主催のオータムフェア（楽寿園）での模擬店出店、三島周辺の外国人居住者調査、沼津の日本語学校での留学生との交流などを実践します。これらの経験を積んだゼミ生は、フィリピンのセブ島でのゼミ合宿で、スラム街でのインタビュー調査やワークショップも経験します。

ゼミ生は、習得した知識や実践経験を、卒業研究や将来の進路、就職活動に活かし、地に足の着いた国際協力人材として社会に巣立っていくことが期待されています。



## 国際関係学部・学科だより

### 国際教養学科 学外研修

#### 准教授 大沢 啓徳

令和7年12月13日(土)、北鎌倉の名刹・円覚寺において、坐禅体験・舍利殿拝観・僧堂見学・写経体験をしました。禅(あるいはZEN)という言葉は知っていても、実際に身をもって体験することで、新しい世界を垣間見ることができたと思います。僧堂見学では、修行僧が生活している禁域に入らせていただきました。「修行僧って本当にいるんだ!」と感動している学生もいました。写経も、「習字が懐かしい～」と言いながら、一文字一文字を丁寧に写していました。「学業成就」を祈願して写経する学生が多かったです。この研修の意味は今はまだ分からないかもしれませんが。それでも世の中一般の流れとは異なる静寂な時間に触れたという体験は、今後の人生において、社会の荒波に揺さぶられるようなときに、一つの心の拠り処になるかと思っています。

最後に、本研修全般にわたり円覚寺内塔頭黄梅院ご住職・内田大通老師にお力添えいただきましたことを申し添えておきます。



## 短期大学部・学科だより

### ビジネス教養学科 BBQ体験

#### 教授 岡野 雄司

令和7年12月5日(金)に長泉町桃沢野外活動センターで、ビジネス教養学科生の親睦を目的としたBBQ体験を16名の参加者で行いました。

当日は、限られた予算で、いかに美味しく見せるかを合言葉に、グループごとに買い出しを楽しみました。旬の野菜を安く取り入れたり、大容量パックを工夫して活用したりと、買い物の時間も、学生たちの結束を強める貴重なひとときとなりました。

キャンプ場での準備の際には役割分担を各自が考え、火起こし、鉄板サビとり、ご飯炊きの各係が連携することで、円滑に進行しました。屋外での食事は開放感があり、普段の講義では見られない一面や趣味の話題で盛り上がり、学生間の距離が格段に縮まったと感じました。

当日は、トラブルもなく、全員が笑顔で終わられたことは大きな成果であったと思います。今回の企画をきっかけとし、今後も学生が楽しめる企画の開催を考えています。



## 短期大学部・学科だより

### 食物栄養学科 学術講演会 11月14日(金)

#### 准教授 篠原 啓子

近年は、地震以外にも気候変動に伴う集中豪雨・台風の激甚化・頻発化が顕著です。大規模災害が発生すると、DMAT(災害派遣医療チーム)やJMAT(日本医師会災害医療チーム)など医療チームが派遣されますが、日本栄養士会も多職種連携の栄養支援に関わりがあります。実際に栄養士はどのような活動をしてきたのか、2024年の能登半島地震に派遣された静岡県栄養士会の理事で防災士の資格を持つ池谷広美先生に「専門職として、災害に備えるために」～自分は何ができるか～と題して、お話を聞きました。

災害時であっても、人が生きていくためには食は切っても切り離せないことであり、特に高齢者や乳幼児など災害弱者にとって栄養士の存在が大切であるなどの感想が学生から多く聞かれました。また、食べることと同じくらいに排泄(トイレ)の問題は避けて通れないため、凝固剤でどのくらいの尿が固まるのか尿に模した水で班ごとに実習を行うなど、実際に役立つ有意義な講演会となりました。



## 学生の皆さんも保護者の皆さんも

### 大学生活の大きな関心事は将来のキャリア(就職)

このコーナーでは、学部4年生、短大2年生で全国の様々な分野への内定を勝ち取った方の手記をお知らせします。就職活動時「日本大学」は武器となります。しかし、大切なのは学生本人の夢（キャリアビジョン）や就活時の努力です。是非ご参考ください。



国際関係学部  
国際総合政策学科4年

**小島 未来さん**

内定先：シャネル合同会社

高校時代はコロナ禍の影響で留学ができなかったため、大学では留学を経験したいと思い、本学部に進学しました。本学部は留学先が多く、期間も自由に選択できる点に魅力を感じました。私も3年次に1か月間スペインへ短期留学しました。海外での生活では、日本とは異なる文化に触れることができ、貴重な経験となりました。

また、本学部では多彩な専門分野の先生方によるカリキュラムが用意されており、語学力と国際社会で活躍する力を身につけることができます。授業の中には、様々な資格取得を目指すものもあります。私はスペイン語検定試験（DELE）や国家資格である旅行業務取扱管理者の取得に向けて勉強しました。こうした授業に取り組んだ経験は、就職活動でも自分の強みとして伝えることができました。

さらに、本学部では多様な業界を目指す学生と出会うことができます。私はゼミナールで副ゼミ長を、サークルではサークル長を務めました。多様な価値観や夢を持つ学生と交流する中で、自分の視野が広がったと感じています。将来、海外で働きたい方や高い語学力を身につけたいと考えている方に、是非お勧めしたい学部です。



国際関係学部  
国際教養学科4年

**永田 将也さん**

内定先：ANA エアポートサービス株式会社

私は、親戚が海外で仕事をしている影響もあり、将来は海外に関わる仕事に就きたいと幼い頃から夢見てきました。高校3年生の時にオープンキャンパスに参加し、先生方や在学生とお話する機会を通して、大学の雰囲気や学習環境に惹かれ、国際関係学部へ進学しました。国際関係学部には多くの留学生や海外経験が豊富な先生方も多くいらっしゃいます。そのため、日常的に海外の文化や価値観に触れることができる点に大きな魅力を感じました。就職活動では、幼い頃から憧れていた航空会社への就職を目指し、3年次の4月から就職活動を開始しました。大学の支援講座を活用し、早い段階から就職活動について体系的に学ぶことができたことは、大きな支えとなりました。将来は海外の空港で働きたいという思いから、現在の内定先を志望しました。今後は、同期や先輩方から信頼される存在になれるよう努力していきたいと考えています。国際関係学部での4年間で、計10か国を訪れ、多くの学びを得るとともに、自身の視野が広がったことを実感しました。現地では、授業で学んだ英語や中国語を実際に活用することができ、自分の成長を感じるとともに、更なる向上心につながりました。



短期大学部  
ビジネス教養学科2年

荊沢 華遥さん

内定先：トヨタ自動車株式会社

私は高校時代から学んでいた商業科目、特に簿記・会計の知識をより深めたいと思い、ビジネス教養学科で学んできました。高校では演劇部の部長として活動し、部員一人ひとりの意見を尊重しながらまとめることを意識してきました。その経験から、相手の立場で考える姿勢や責任感を身につけることができ、それが就職活動でも自分の強みになったと感じています。

選考では、部活動で培ったリーダーシップや大学での学びへの意欲を伝えました。また、個別指導塾での講師のアルバイトでは、生徒の理解度に合わせて教え方を工夫し、信頼関係を築くことを大切にしてきました。そうした経験を評価していただき、学校推薦を活用して内定をいただくことができました。これからは大学で学んだ専門知識と日々の経験を活かし、社会に貢献できる社会人へと成長していきたいと考えています。

在学中は、不安に押しつぶされそうになることもあるかもしれませんが、私自身も入学当初は様々な不安を抱えていましたが、周囲には力になってくれる先生や友人がいました。遠慮せずに信頼できる人に相談しながら歩んでほしいと思います。皆さんがこれまで積み重ねてきた努力に自信を持ち、自分らしさを大切にしながら挑戦を続けてください。



短期大学部  
食物栄養学科2年

亀山 つつみさん

内定先：株式会社ポピンズエデュケア

私は1年生の春休みから就職活動を始めました。栄養士職に進むか、一般企業に就職するかで悩みましたが、将来のキャリアプランを考えた時、管理栄養士の道にも興味があったため、栄養士職を選びました。

やりたいことを整理し、保育園や学校給食を主に運営している会社に決め、マイナビを通して多くの説明会に参加しました。

複数の選考を経て、株式会社ポピンズエデュケアへの就職を決めました。

新しい土地での生活と仕事はワクワクする反面、不安もありますが、保育園の栄養士として子どもたちのために何ができるかを常に考えながら、取り組んでいきたいと思っています。

食物栄養学科は少人数のクラス制で、同級生との仲が縮まりやすく、助け合いながら切磋琢磨し合える環境でした。先生方との距離も近く、何事にも親身に相談に乗ってくださいました。

大学生活では信頼できる先生や友達を作ることがとても大切だと感じています。ぜひ、沢山のひとと関わり、充実した大学生活を送ってください。

## 学生支援室・保健室より

12号館1階の学生支援室・保健室は図書館兼本館1階東側に移転しました。令和8年度から新たな場所で学生の皆さんをお迎えします。学生支援室・保健室は、本館エントランスと東側出入口の2箇所からアクセスできます。東側出入口からの場合は入り口が施錠されていますので、インターホンでお呼び出してください。

### ●学生支援室

扉を入ってすぐに学生支援室があります。学生生活・友人関係、困っていること、不安などお気軽にご相談下さい。障がいのある学生の修学支援についても対応しています。詳しくはホームページをご確認ください。

#### 【受付時間】

月～金……9：00～16：30  
土(隔週)…9：00～12：00

#### \*カウンセリング(予約制)

火～金……10：30～16：00

#### \*精神科医によるこころの健康相談(予約制) 月2回不定期



学生支援室・保健室入口



コーディネーター室



カウンセラー室



フリールーム

### ●保健室

保健室は、図書館兼本館1階(学生支援室隣)と三島駅北口校舎2階の2か所で開設しています。

体調が優れない時や怪我などの応急処置のほか、学校医による健康相談や近隣の医療機関紹介も行っています。

※一般用医薬品(内服薬など)の取り扱いはしていません。かかりつけ医師や薬局等に相談の上、自分に合った薬を携帯するようにしましょう。

※生理用品の無料配付を行っています。

#### 【開室時間】

- 本校舎 月～金 10：00～18：00  
土 9：00～13：00
- 北口校舎 月～金 9：00～17：00

#### \*学校医による健康相談：第1、3水曜日 15：00～16：00(学事日程により変更あり)



図書館兼本館保健室受付



処置室&休養室



測定コーナー



## 三島キャンパス 告知板

### 【保護者配信メール(さくら連絡網)未登録者の皆様へ】

本学部では、さくら連絡網にご登録済みの保護者の皆様へ原則毎月一度、大学から情報を発信しております。ご登録いただけますとLINE等で情報を受け取ることが可能となります。未登録で新規登録をご希望の場合は、庶務課(電話 055-980-0801)へお問い合わせください。

#### ▶配信内容例

- 「台風接近による荒天が予想されるので、令和〇年〇月〇日の講義は休講します。」
- 「令和〇年〇月〇日に成績発送を行いますので、ご確認をお願いします。」
- 「〇〇ガイダンスが令和〇年〇月〇日に実施されます。」